



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社
 コード番号 9110 URL <http://www.nsuship.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 宮崎 毅
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大名福

TEL 03-6895-6260

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	66,837	0.2	257	△48.5	△1,367	—	△1,404	—
24年3月期第2四半期	66,688	13.0	499	△88.2	△1,217	—	△415	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △2,011百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △2,502百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△6.09	—
24年3月期第2四半期	△1.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	186,811	63,024	32.8
24年3月期	190,659	65,581	33.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 61,259百万円 24年3月期 63,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は定款において第2四半期末日および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	136,000	0.7	1,100	△32.4	△200	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※連結業績予想の修正については、本日(平成24年10月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。
詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	230,764,400 株	24年3月期	230,764,400 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	86,682 株	24年3月期	86,257 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	230,678,039 株	24年3月期2Q	230,679,492 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。また、本日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日までの6ヶ月間)の外航海運市況は、ドライバルクにつきましては、新造船大量竣工に伴う船腹の供給圧力がピークに達するなか、中国の景気減速を背景とした鉄鉱石需要の不透明感、米国の記録的な干ばつなど荷動き停滞要因が重なり、ケーブ型ならびにパナマックス型撒積船市況はそれぞれリーマンショック直後の水準まで低下しました。その後、9月後半には中国政府による公共投資計画承認を好感したケーブ型撒積船市況が回復の兆しを見せましたが、全体としては、市況は全ての船型で総じて低迷しました。タンカーにつきましても、今年前半は欧米のイラン原油禁輸措置に伴う航路の遠距離化や、中国の原油備蓄積み増し等を受け底堅い水準で推移しましたが、依然として強い新造船の供給圧力に加え、7月以降の中国の原油輸入減少の影響を受けて市況は急落しました。このような状況の下、外航海運事業の業績は前年同期比で減益となりました。

内航海運事業につきましては、鋼材輸送量は、自動車関連こそ堅調に推移しましたが、震災復興需要の遅れや世界的な景気後退による輸出低迷の影響で荷動きが減少した事もあり、業績は前年同期比でほぼ横ばいで推移しました。

燃料油価格は、年初に史上高値圏で推移した後、一旦は軟化しましたが、中東情勢の緊迫化を背景とした原油価格上昇傾向に伴い総じて高水準で推移し、当社の第2四半期連結累計期間の平均購入価格はトン当たり約704ドル(内外地平均C重油)となり、前年同期比では約41ドル上昇しました。また対米ドル円相場は期中平均で80円50銭と前年同期比では17銭の円安と、依然として円高基調で推移しました。

このような事業環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は668億37百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は2億57百万円(前年同期比48.5%減)、経常損失は13億67百万円(前年同期は12億17百万円の経常損失)となりました。また特別利益に船舶売却に係る固定資産売却益9億97百万円等、合計10億51百万円を計上したものの、特別損失に投資有価証券評価損15億79百万円等、合計18億円を計上したこともあり、四半期純損失は14億4百万円(前年同期は4億15百万円の四半期純損失)となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、38億48百万円減少の1,868億11百万円となりました。このうち流動資産は受取手形及び営業未収金が27億53百万円減少したものの、現金及び預金と繰延税金資産が26億83百万円増加し、その他の増加要因も加え、全体では81百万円増加しました。固定資産は建設仮勘定が15億16百万円、繰延税金資産が7億13百万円各々増加しましたが、減価償却等により船舶が51億19百万円減少したこと、および株価下落に伴い投資有価証券が9億43百万円減少したこと等により、全体では39億29百万円減少しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、12億90百万円減少の1,237億88百万円となりました。このうち流動負債は短期借入金18億93百万円減少したこと、および未払金が27億18百万円減少したこと等により、43億53百万円減少しました。固定負債は長期借入金の増加等により、30億63百万円増加しました。

純資産合計は四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ25億57百万円減少し、630億24百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期				
	期首予想	前回予想	今回予想	前回予想比	
				増減比	増減率
売上高	143,000	-	136,000	-	-
営業利益	1,200	-	1,100	-	-
経常利益	500	-	△200	-	-
当期純利益	1,300	-	0	-	-

※期初予想（平成24年4月27日）及び今回予想における第3・4四半期の対米ドル円換算率及び燃料油価格（内地C重油）の前提は以下の通りです。

第3・4半期前提	期初予想	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=80円	-	US\$=80円
燃料油価格（内地C重油）	US\$720/MT	-	US\$690/MT

第3四半期以降につきましては、世界経済はその成長牽引役の不在と欧州債務問題により今後も停滞するものと見込まれます。外航海運についても、船腹余剰感は依然として強く、燃料油価格の高騰、円高基調の長期化なども併せ、船主・オペレーターにとって厳しい状況が続くものと思われます。一方で、新造船の竣工量は本年がピークとなること、高齢船の解撤による船腹調整が進むこと、中国の公共投資拡大による原料荷動きの活発化が期待されること等、市況回復の兆しが窺われます。

このような事業環境を踏まえ、本年7月31日付け「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」にて「未定」としておりました平成25年3月期通期連結業績予想を上述の通り修正いたします。なお第3・4四半期の前提条件は対米ドル円換算率を1ドル=80円、燃料油価格はトン当たり690ドル（内地C重油）としております。

また期末配当につきましては、事業環境の先行きが不透明であることから、現時点では未定といたします。

本日、別途「業績予想の修正に関するお知らせ」開示しておりますので併せてご覧下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,329	19,190
受取手形及び営業未収金	15,753	13,000
たな卸資産	6,968	6,954
前払費用	2,321	2,317
繰延税金資産	3,261	4,083
その他流動資産	4,371	4,454
貸倒引当金	△114	△28
流動資産合計	49,889	49,970
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	107,171	102,052
建物（純額）	639	621
土地	855	827
建設仮勘定	23,545	25,061
その他有形固定資産（純額）	466	392
有形固定資産合計	132,676	128,953
無形固定資産	244	285
投資その他の資産		
投資有価証券	4,424	3,481
繰延税金資産	2,152	2,865
その他長期資産	1,274	1,257
投資その他の資産合計	7,850	7,603
固定資産合計	140,770	136,841
資産合計	190,659	186,811

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,546	7,078
短期借入金	15,610	13,717
未払金	2,820	102
未払費用	301	276
未払法人税等	648	191
繰延税金負債	172	120
前受金	1,370	1,432
賞与引当金	370	368
役員賞与引当金	36	15
デリバティブ債務	8,617	10,873
その他流動負債	2,275	1,240
流動負債合計	39,765	35,412
固定負債		
長期借入金	80,250	83,273
退職給付引当金	1,216	1,241
特別修繕引当金	2,083	2,200
繰延税金負債	1,621	1,578
その他固定負債	143	84
固定負債合計	85,313	88,376
負債合計	125,078	123,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	13,430	13,429
利益剰余金	44,448	43,044
自己株式	△26	△26
株主資本合計	68,152	66,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△625	△145
繰延ヘッジ損益	△3,210	△5,009
為替換算調整勘定	△1,020	△334
その他の包括利益累計額合計	△4,855	△5,488
少数株主持分	2,284	1,764
純資産合計	65,581	63,024
負債純資産合計	190,659	186,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	66,688	66,837
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	62,892	63,541
売上総利益	3,796	3,296
一般管理費	3,297	3,039
営業利益	499	257
営業外収益		
受取利息	131	84
受取配当金	69	42
持分法による投資利益	27	18
その他営業外収益	70	77
営業外収益合計	297	221
営業外費用		
支払利息	561	674
為替差損	1,428	1,099
その他営業外費用	24	72
営業外費用合計	2,013	1,845
経常損失(△)	△1,217	△1,367
特別利益		
固定資産売却益	77	997
負ののれん発生益	—	54
賃貸借契約解約精算金	116	—
特別利益合計	193	1,051
特別損失		
固定資産売却損	—	106
投資有価証券評価損	—	1,579
子会社株式売却損	—	115
特別損失合計	—	1,800
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,024	△2,116
法人税等	△693	△762
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△331	△1,354
少数株主利益	84	50
四半期純損失(△)	△415	△1,404

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△331	△1,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△473	457
繰延ヘッジ損益	△2,299	△1,800
為替換算調整勘定	602	672
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	15
その他の包括利益合計	△2,171	△656
四半期包括利益	△2,502	△2,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,564	△2,038
少数株主に係る四半期包括利益	62	27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,024	△2,116
減価償却費	4,955	5,795
負ののれん発生益	—	△54
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△88
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23	△2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△62	△22
前払年金費用及び退職給付引当金の増減額	72	12
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	13	120
受取利息及び受取配当金	△200	△126
支払利息	561	674
持分法による投資損益(△は益)	△27	△18
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△77	△891
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,579
子会社株式売却損益(△は益)	—	115
賃貸借契約解約精算金	△116	—
営業債権の増減額(△は増加)	2,172	2,613
たな卸資産の増減額(△は増加)	△141	14
営業債務の増減額(△は減少)	△1,146	△463
未払金の増減額(△は減少)	△164	△2,688
その他	△756	413
小計	4,037	4,866
利息及び配当金の受取額	200	126
利息の支払額	△604	△830
法人税等の支払額	△1,501	△671
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,132	3,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	190	△70
船舶の取得による支出	△5,454	△9,117
船舶の売却による収入	—	10,024
その他の固定資産取得による支出	△35	△273
その他の固定資産売却による収入	91	222
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	60
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△125
短期貸付金の増減額(△は増加)	1	△2,998
その他	△11	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,220	△2,277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	350	△612
長期借入れによる収入	3,730	9,467
長期借入金の返済による支出	△4,232	△7,759
子会社の自己株式の取得による支出	△0	△416
配当金の支払額	△702	△0
少数株主への配当金の支払額	△52	△52
その他	△15	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△921	614

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△98	△38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,107	1,790
現金及び現金同等物の期首残高	13,044	17,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,937	18,980

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	55,744	10,525	66,269	419	66,688	—	66,688
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	3	3	231	234	△234	—
計	55,744	10,528	66,272	650	66,922	△234	66,688
セグメント利益	95	372	467	24	491	8	499

(注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	55,337	10,998	66,336	501	66,837	—	66,837
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	2	255	257	△257	—
計	55,337	11,001	66,338	756	67,094	△257	66,837
セグメント利益 又は損失(△)	△128	379	251	△2	249	8	257

(注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額8百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。